



本会議の代表質問から

10月3日、4日の本会議では、次の16名の議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって市長や関係理事者に質問を行いました。ここでは、その主なものをお伝えします。

自 民 党



しまもと 京司
議員
(南区)

北陸新幹線の整備・延伸事業

Q 北陸新幹線の重要性は理解しているが、国交省ルート案と新駅候補地はいずれも南区で、地元からは水質や環境への影響、交通渋滞等を心配する声がある。本市も情報収集に努め基礎自治体として対応すべき。費用負担と便益性、将来世代にも配慮し、負担極小化の検討を求めたい。国や鉄道・運輸機構等への対応方針は。

A 地下水や市財政への影響、建設発生土への対応、工事車両による交通渋滞等、北陸新幹線には大変な影響を及ぼしかねない課題がある。将来の京都にとって、価値ある投資が慎重な検討が必要。国や機構は、状況を十分に踏まえた適切な対応が必要。



さくらい 泰広
議員
(左京区)

都市基盤整備の推進に向けた市長の決意

Q 大規模自然災害を想定した道路や河川の整備は重要で、公共事業は次世代のための大切な投資である。市長は財政状況が改善しつつあることを踏まえ、攻めの都市経営を行うと述べたが、令和7年度予算編成を控え、投資的事業に係るキャップを見直し、都市基盤整備を進める決意を伺う。

A 公共投資は自然災害から市民の安心・安全を守り、生活や経済活動を支える基盤を形成する未来への投資。現在は一般財源収入増が見込めるフェーズへ変化しており上限設定の在り方を見直す必要がある。財政規律を堅持したうえで都市基盤整備の推進を含めた攻めの都市経営を実行する。



井上 よしひろ
議員
(右京区)

ヤングケアラーに対する支援の充実

Q 市会では議員提案によるケアラー支援に関する条例制定に取り組んでいる。条例が目指す社会の実現には、とりわけヤン

グケアラー*への支援が喫緊の課題。子どもや若者の時期にしか経験できないことは貴重な財産である。子どもや若者が自己実現できる社会を目指して支援を充実すべき。

A 条例づくりの取組に敬意を表するとともに、執行機関として施策の充実に取り組む決意である。令和7年度からヘルパー派遣事業の対象エリアを全地域に拡大する等、本格実施に向け検討を行う。学齢期子どもへのアンケート等により、支援を求めらる声をキャッチする仕組みも構築する。

維新・京都・国民



久保田 正紀
議員
(伏見区)

ヤングケアラー支援の充実

Q 昨年9月にヤングケアラー世帯訪問支援モデル事業*がスタートしたが利用数が少ない。利用申請を親が行う必要があり、対象の子どもが親を気にして申請に至らない可能性もある。制度の更なる周知啓発に努めるとともに、子どもが気軽に匿名で直接相談できる新たな窓口の創設が必要。

A 周知啓発には幅広く取り組んでいるが、今後も周知啓発に加え、支援が必要な世帯には直接働きかけていく。既に実施しているSNSでの相談事業のほか、学齢期の子どもへのアンケート等により、本事業の相談も含め本市が直接子どもから支援を求めらる声をキャッチする仕組みも構築する。



大津 裕太
議員
(中京区)

子ども相談センターパトナの窓口対応

Q 多くの保護者からパトナの相談窓口対応への厳しい声を聞く。利用者アンケート等で状況や課題を把握し早急に改善すべき。民間のフリースクール等の情報を教えてもらえないとの声も聞く。保護者は案内を受け自身で子どもに合う支援を選ぶので保護者や子どもを信頼した対応をすべき。

A パトナでは専門性を有したカウンセラーが相談者の状

況に応じた支援を行っており、引き続き相談者に寄り添った相談に努める。フリースクールの情報提供は電話相談等で行うほか、9月には紹介施設数を倍増させ、教育委員会ホームページに掲載するとともに、学校を通じ周知している。



北川 みき
議員
(西京区)

洛西"SAIKO"プロジェクトにおける公共交通充実の取組

Q 洛西"SAIKO"プロジェクト*における公共交通充実に関し、市中心部から洛西ニュータウンまでLRT*が通れば、芸大跡地等の土地活用、企業誘致、経済の活性化等が見込まれる。交通の充実は生活の質向上につながる。地元の強い要望もあるが市長の考えは。

A LRT新設には多額の建設費や維持運営費、地域の道路交通への影響等の課題がある。本プロジェクトでは既存交通のバージョンアップに取り組み、鉄道駅と洛西バスターミナルを約10分で結ぶ路線の新設等を行っている。今後も新たな交通システムの研究を含め、公共交通ネットワークを構築し、地域交通の充実に努める。



せあ、行こう。洛西のミライへ。



河村 諒
議員
(左京区)

散乱ごみの現状に対する市長の認識

Q 公設のごみ箱が溢れ景観が損なわれている。これ以上ごみの散乱を続けないために本市が責任を負って対応すべき。十分な数のごみ箱がありながら溢れているのは、ごみ箱の総数より配置や運用方法に問題がある。街中にごみが散乱する現状への認識は。

A 観光ハイシーズンには収集回数追加やマナー啓発等を実施しているが、散乱ごみは食べ歩き等に起因するものも多く、地域や事業者と一体となった対策も重要。この間の自主的な美化活動等のご協力に感謝と敬意を表する。

自民党=自由民主党京都市議員団、維新・京都・国民=維新・京都・国民市議員団、
共産党=日本共産党京都市議員団、公明党=公明党京都市議員団
民主・市民フォーラム=民主・市民フォーラム京都市議員団



録画映像はこちらから



更に協力の輪を広げることも大切。今後も地域や事業者と連携し、効果的な散乱ごみ対策に注力する。

同会派のその他の質問議員



中野 洋一
議員
(東山区)

共 産 党



くらた 共子
議員
(上京区)

行財政改革の取組

Q 行財政改革で削減した市民サービスを元に戻し、中小企業等への経済支援を行うべき。公共サービスの民営化方針を撤回し、住民福祉の増進を図る自治体の使命を果たすべき。削減された職員数を復活させ、少なくとも、これ以上の職員削減はやめるべき。

A 行財政改革は未来に責任を持つ改革であり、見直した施策を単純に戻す考えはない。市民や事業者の支えは今後も国や府と連携し効果的な対策を講じる。民間活力に関し行政だけでは対応が困難な状況が続いており民間と共に公共を担うという発想で取り組む。職員体制は市民のいのちと暮らしを守る体制を確保している。



森田 ゆみ子
議員
(南区)

北陸新幹線延伸計画の中止

Q 京都駅に係る3ルート案が示された。建設費増額に伴う本市負担は市民の暮らしに重大な影響があるが見解は。また、地下水の汚染等の環境負荷から市と市民を守るのか。さらに、南海トラフ等災害時にどう対応できるか。策定に向けての決意と併せて伺う。

A 平和の中で市民一人ひとりの幸福を実現し、多様性を認め合い、互いに支え合うというご提言の理念は、長期ビジョンの重要な柱。人々が希求する豊かさ、幸せを実現する都市の在り方を提示していく。優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市

鉄道・運輸機構が関係法令等に則り適切に対応すると認識している。



山本 陽子
議員
(山科区)

18歳までの医療費の実質無償化

Q 子どもの医療費助成が小学校卒業まで200円となったことは前進だが、更なる拡充の早期実現を求める。政令市20市中、15市が既に18歳までの医療費助成を実現しており、本市でも18歳までの医療費の実質無償化を早期に実現していただきたい。

A 子ども医療費支給制度は、府市協調で昨年9月に小学生の通院医療費を政令市トップ水準となる200円まで引き下げた。中学生までの拡充に向け、府議会での知事答弁及び全会一致での市会決議を踏まえ、府市協調で取り組む。18歳までの拡充は制度の持続性の課題に加え、府市協調を後退させかねない懸念がある。



公 明 党



青野 仁志
議員
(中京区)

平和と文化を都市の基調とする長期ビジョンの策定

Q 長期ビジョン(次期総合計画)策定にあたり、本市の直面する課題や時代の潮流、また、「平和」と「文化」を都市の基調とするよう求めた我が会派の意見を踏まえ、どのような価値観を大切にしていけばよきと考えるか。策定に向けての決意と併せて伺う。

A 平和の中で市民一人ひとりの幸福を実現し、多様性を認め合い、互いに支え合うというご提言の理念は、長期ビジョンの重要な柱。人々が希求する豊かさ、幸せを実現する都市の在り方を提示していく。優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市

の姿に世界中が共感する、そんな京都のまちを創り上げる。



中村 まり
議員
(南区)

公共施設としての図書館の在り方

Q 図書館は子育て世代が気兼ねなく過ごす場所や、生きづらさを抱える人等が安心して過ごす場所として大切な役割を果たす。新たなつながりを生み出す場としての活用も有効。これからの公共施設の在り方として、図書館が一つの居場所となるよう役割や機能を再考していただきたい。

A 今日の図書館にはサードプレイス*としての機能が求められるほか、図書館機能を核とした「賑わい」と「交流」の場や、「地域コミュニティの核」となる場の創出も重要。幅広い市民の皆様の潜在的なニーズを把握し、新たな価値創造につながるこれからの図書館の在り方を検討していく。



くまざわ 真昭
議員
(左京区)

視覚障がいのある方への情報提供の在り方

Q 視覚障がいのある方の情報アクセシビリティ*はまだまだ後れている。自立し社会参加していくためにも情報のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進は重要。音声コード*の普及は幅広い人へ情報を伝える有効な手段と考えるが、本市の情報提供の在り方と今後の取組への考えを伺う。

A これまでから視覚障がいのある方に対する情報保障として、広報物の点字版・音声版の作成などに取り組んできた。音声コードは非常に有用なツールの一つであると認識しており、今後、実施可能なものから導入していく。引き続き、障がい特性に応じた情報保障の取組を進めていく。

民主・市民フォーラム



天方 ひろゆき
議員
(西京区)

病児・病後児保育

Q 各施設と意見交換し利用者が安心して利用できる環境を整えることが大切。仕事を休めないなど病児保育があることで助かる方は多いが、事業を知らない方もいる。多くの方に知ってもらうことが安心して子育てができる環境づくりにとって重要と考える。

A 安心・安全の観点から医療機関を中心に実施施設の拡大を図ってきており、十分な受入枠を確保している一方、稼働率は約4割に留まっている。認知度を高めることが、より一層子育てしやすい環境づくりに不可欠。今後、チラシ等による目に留まる広報、SNSの活用による拡散型の広報等により更なる事業の周知に努める。

用語解説

- *ヤングケアラー… 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども。
- *ヤングケアラー世帯訪問支援モデル事業… 育児や家事等の援助を行う支援員を派遣することにより、ヤングケアラーの負担軽減を図ることを目的とした事業。
- *洛西"SAIKO"プロジェクト… 洛西地域の可能性を最大限に活かし、地域の中核となる洛西ニュータウンの再生を図るとともに、働く場の創出、移住・定住の促進、公共交通のバージョンアップ等の取組を実行するアクションプラン。
- *LRT… Light Rail Transitの略で、従来の路面電車に比べ振動が少なく、低床式で乗降が容易であるなど、車両や走行環境を向上させた、次世代型路面電車とも呼ばれる公共交通システム。
- *サードプレイス… 自宅や職場、学校以外の居心地のよい第三の居場所。
- *情報アクセシビリティ… 年齢や障がいの有無等に関わりなく、誰でも必要とする情報に簡単にたどり着くことができ、利用できること。
- *音声コード… 紙媒体に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えるための二次元コード。読上装置やスマートフォンアプリ等を使って、音声で聞くことができる。

*本文中で使用している画像はイメージです。

京都駅西部エリアの今後のまちづくり

Q 京都駅西部エリアは、多様な民間事業者や研究機関が集積しており、強い経済のけん引が期待される。中央市場の再整備で生み出される有効活用地区は、京都全体の活力につながる重要な要素である。今後のまちづくりをどう進めるのか、市長の決意を伺う。

A 西部エリアのポテンシャルを都市全体の発展につなげることが重要。若者や子育て世代等が集まり、働き、住みたいと思えるよう中央市場の整備で生み出される市有地を活用し、スタートアップ支援や企業立地、住まいや賑わいの創出等につなげる。京都駅周辺一体で相乗効果を発揮させ、戦略的なまちづくりに取り組む。

